

市町村名	南大東村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-①	健康診査専門スタッフ渡航費用支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ウ
担当部署名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4-(2)

**事業内容**  
 住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを2年に1度、南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度( 年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	509	510	536	696	639
		(b) 予算現額	536	536	815	696	655
		(c) 増減額(b-a)	27	26	279	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	536	536	815	696	639
		B. 執行済額	536	536	815	832	655
		うち交付金充当額	428	428	652	665	524
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	119.6%	102.5%
		予算の状況の説明	検診のための検査技師等スタッフ来島渡航費の委託料は、合計655千円(検査技師渡航費)を実施した。				

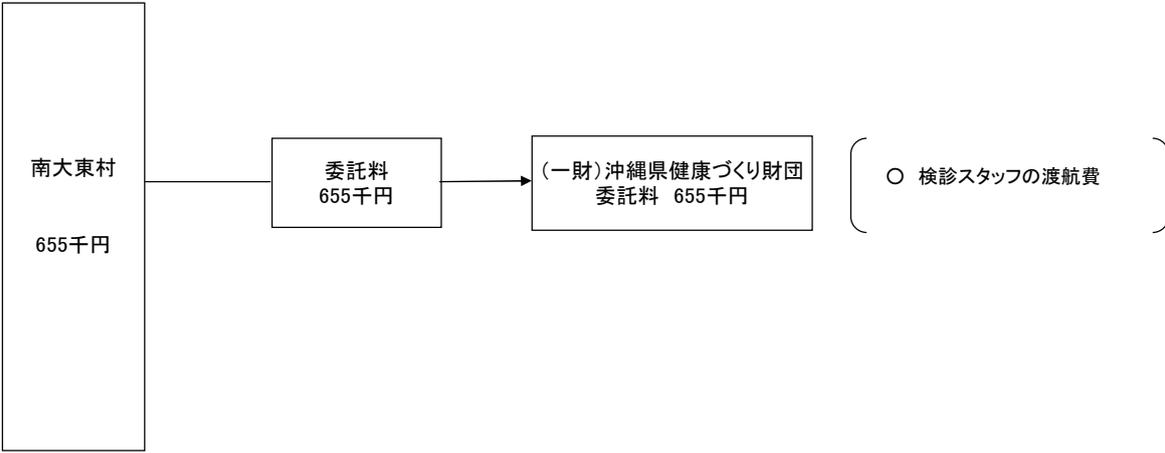
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	目標	( 支援の実施 )	( 支援の実施 )	( 支援の実施 )
	実績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
	目標					
	実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種がん検診実施のための、検査技師等スタッフの派遣により、継続して実施できた。</li> <li>・南大東へ移送するスケジュール等の確保が困難のため、胸部レントゲン車の海上移送はできなかったが、県立南部医療センター・子ども医療センター附属南大東診療所の協力により胸部X線の撮影を島内の診療所で実施できた。</li> <li>・住民の健康管理及び疾病等の早期な治療予防が図れた。</li> </ul>					

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R6年度)
		集団検診受診率(受診者数/R7.3.31現在の20歳以上の村民人口963人)	目標	325人	342人	323人	366人
		実績		315人(34.9%)	269人(28.2%)	266人(27.6%)	
	【参考指標】胸部レントゲン撮影者数	目標		218人	199人	193人	
		実績		196人(49.5%)	179人(44.9%)	188人(39.0%)	
進捗状況説明	令和6年度も引き続き集団検診を継続して実施することができた。成果目標である受診率は昨年度と比較して0.6ポイント下落し、目標値の38.0%を下回り27.6%となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>成果目標である受診率(38.0%以上)を達成出来なかった理由としては、受診対象者個人による時期的な要因と又、受診検診日に受診ができなかった場合は島外にて人間ドックを受診している場合が要因と考えられる。</p>	<p>例年、集団検診の対象者には毎年、本村で受診が行える旨を、広報誌や防災行政無線等とおして、場所と日程を通知し、可能な限り島内にて受診を行うよう早い段階から周知し促していく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・本村には集団検診を受診する医療機関が未整備であるため、今後も例年どおり、集団検診と胸部レントゲン検診の受診を実施することで、住民のがん等の早期発見、早期治療を推奨させるため、検診における検査技師等の専門スタッフの渡航費用を支援していく。又、集団検診受診及び胸部レントゲン受診の受診率向上も図りながら住民の健康増進にも引き続きつなげていき、住民1人1人の健康管理に伴う住民検診等の必要性を防災行政無線及び広報誌等で周知していく。</p> <p>・比較的受診率が低いと思われる若い世代(20代~30代)への対象者にも職場等を中心に広報等にて住民検診の必要性を促し、協力を求め受診率の向上にも努めていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
655	655	524	131	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託先は随意契約で選定しており沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当であると考えている。</p> <p>○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。</p> <p>○費用・使途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-②	専門病院受診渡航費用助成事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ウ
担当部署名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実
				Ⅲ-4-(2)

**事業内容**  
 村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

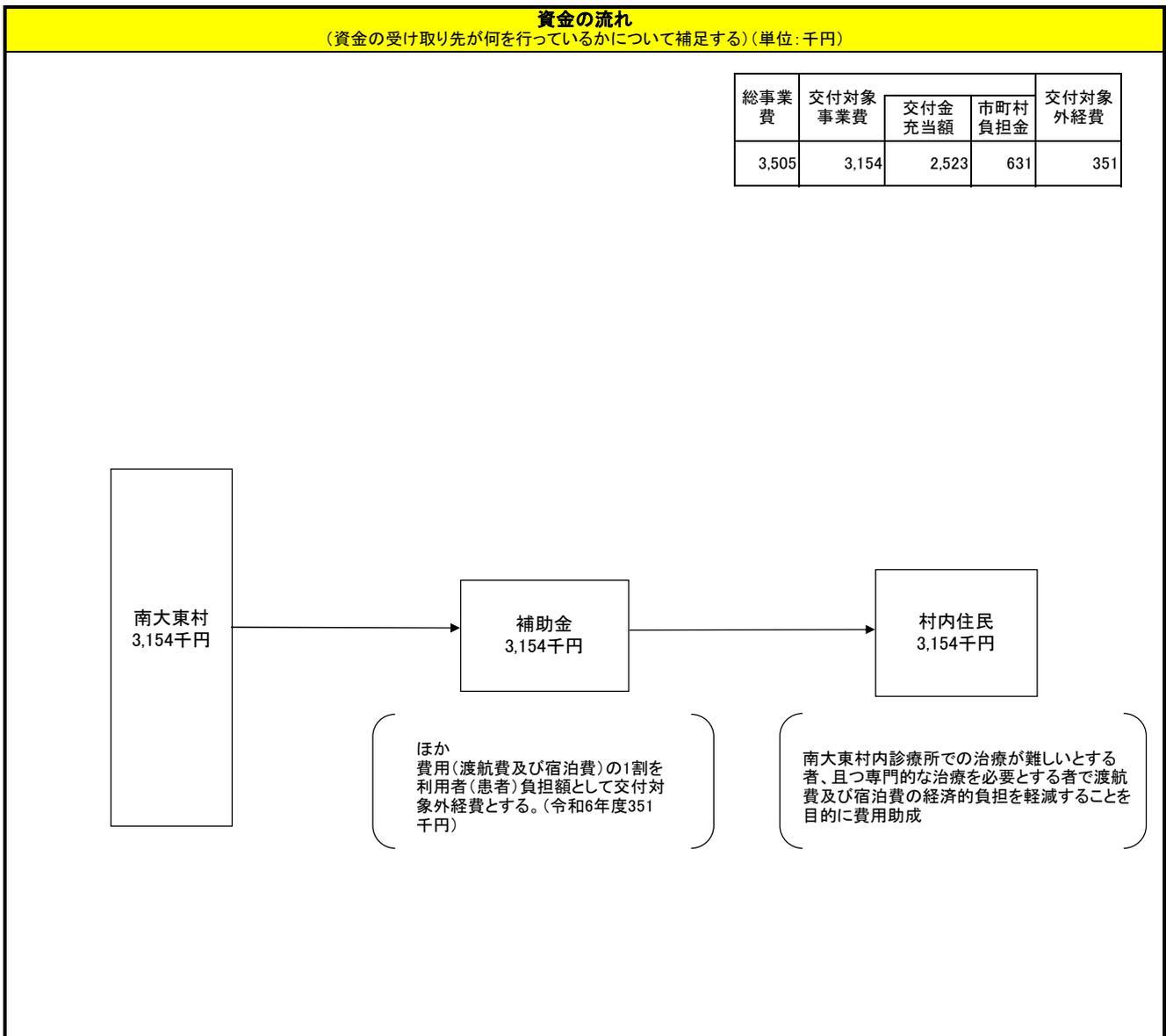
**実施方法**  
 直接実施     委託       補助       負担       その他(      )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	5,969	5,969	4,829	5,782	5,782
	(b) 予算現額	2,628	2,717	3,482	5,782	4,047
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,341	▲ 3,252	▲ 1,347	0	▲ 1,735
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	2,628	2,717	3,482	5,782	4,047
	B. 執行済額	2,628	2,717	3,142	3,704	3,154
	うち交付金充当額	2,102	2,173	2,513	2,962	2,523
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	90.2%	64.1%	77.9%
	予算の状況の説明	年度末に向けた支援需要に対応するため、一定の予算余裕を確保してきた結果、未執行額は893千円となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		専門病院受診渡航費助成の実施	目標 ( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )
	実績	助成の実施	助成の実施	助成の実施	助成の実施
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
	実績				
達成状況説明	本事業における活動目標は、住民が沖縄本島での専門的治療・検査を受けられるよう、渡航費助成を継続的に実施することと設定していた。今年度も助成対象者に対し安定的な支援を行い、必要とする住民に対して切れ目なく助成を提供することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費支援を要望する人への支援率100%) 当初支援人数見込:264件	目標 (                    )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	(                    )
			実績	100%	100%	100%	
		【参考指標】 支援実施件数	目標 (                    )	(      —      )	(      —      )	(      —      )	(                    )
	実績		153件	185件	163件		
進捗状況説明	本事業における成果目標は、渡航費支援を要望する住民に対する支援率100%を達成することに設定していた。今年度も渡航費支援を要望したすべての対象者に対して支援を実施し、支援率100%を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の医療ニーズは多様かつ個性が高いため、支援対象件数や内容を事前に正確に把握することが難しく、予算編成の精緻化に課題がある。</li> <li>また、今後高齢化の進行や医療アクセス向上の要請に伴い、支援需要が増加する可能性があり、安定的な財源確保と柔軟な予算対応が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度ごとの申請件数、疾病傾向、渡航時期の分析を行い、予測精度を向上させる。</li> <li>渡航支援希望者が早めに相談できる仕組みを設け、ニーズを先行把握する。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>過去実績データの体系的な蓄積と分析を行い、申請件数や疾病傾向、渡航時期の予測精度を高める。</li> <li>事前相談受付制度を導入し、渡航支援希望者の早期把握と個別ニーズの確認を進める。</li> <li>申請手続きの簡素化を図り、利用者の利便性向上を目指す。</li> <li>住民に対して、制度の周知活動を一層推進し、支援を必要とする人への確実な支援を実現する。</li> </ul>		



資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	南大東村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	2-①	花いっぱいクリーン環境整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				持続可能で質の高い離島観光の振興
				Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度( 年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	12,412	12,412	5,702	5,702
		(b) 予算現額	13,230	9,517	5,702	3,275
		(c) 増減額(b-a)	818	▲2,895	0	▲2,427
		(d) 繰越額	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	13,230	9,517	5,702	3,275
		B. 執行済額	13,230	9,517	2,412	3,276
		うち交付金充当額	10,583	7,613	1,929	2,620
		次年度繰越額	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	42.3%	100.0%
		予算の状況の説明	本事業は、当初計画通りの予算を確保し、全額を執行できた。計画的な事業運営がなされ、年度内において適切かつ円滑に執行した。			

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 11箇所、アクセス道路 3箇所)	目標	( 12箇所 )	( 14箇所 )	( 14箇所 )
	実績	12箇所	13箇所	14箇所	14箇所	
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
達成状況説明	令和6年度においては、計画通り観光地11箇所、アクセス道路3箇所の14箇所すべてで美化清掃作業を実施し、活動目標を達成した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 満足度80%以上 )	( 満足度80%以上 )	( 満足度80%以上 )
		実績		満足81% 普通15% 不満4%	満足85% 普通15% 不満0%	満足85% 普通15% 不満0%	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
進捗状況説明	アンケート結果では、「満足(観光地としての魅力が向上した)」と回答した割合が80%以上となり、当初設定した成果目標(80%以上)を達成した。						

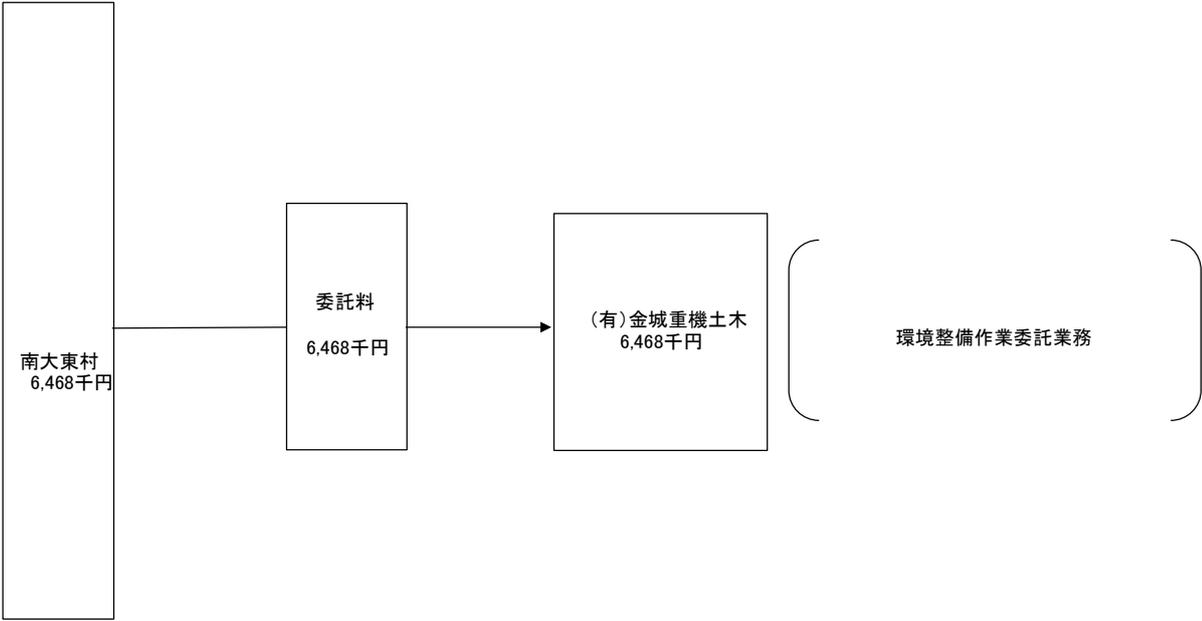
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的な整備では効果が持続せず、定期的な取り組みが必要だが、予算・人材面での継続実施に工夫が求められる。</li> <li>・台風や高温・少雨などの気候条件により、植栽が枯れる・損傷するリスクがあり、予備的対応や植栽選定が重用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度の整備で完結しないことを前提に、維持費用や人件費を年次計画に織り込むことで、中長期的な運用を可能にする。</li> <li>・地元の気候、風土に適した強健な植物を選定。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 継続的な美化活動の体制整備
  - ・年間を通じた清掃、植栽スケジュールの策定により、一過性でない継続的な環境美化を図る。
  - ・維持管理費を含めた予算措置を安定的に確保し、定期的な管理、補植が可能な財政基盤を整備する。
- 気候変動への適応力の強化
  - ・高温や台風等の気候変化に強い在来種、強健種の植栽を選定し、植生の安定性を高める。
- 効果検証と事業の発信
  - ・観光客を対象にした定期的なアンケート調査により、事業の効果と課題を把握・改善につなげる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,480	6,468	5,174	1,294	1,012



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札よりも実績を重視した指名競争入札による3社からの選定で行われており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業の目的・内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	3-①	人材育成派遣事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

**事業内容**  
島内の児童生徒を対象に島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託       補助       負担       その他(      )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	7,250	7,251	7,189	7,225	7,788
		(b) 予算現額	862	1,311	2,966	7,225	7,788
		(c) 増減額(b-a)	▲ 6,388	▲ 5,940	▲ 4,223	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	862	1,311	2,966	7,225	7,788
		B. 執行済額	862	1,311	2,941	4,085	5,319
		うち交付金充当額	689	1,048	2,352	3,109	4,255
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.2%	56.5%	68.3%
		予算の状況の説明	本年度は、当初計画していた大会の開催や派遣人員に一定の変動があったことに加え、年度末に向けた支援需要に柔軟に対応するため、一定の予算余裕を確保した結果、未執行額が2,469千円となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )
	実績	実施	実施	実施	実施
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )
	実績				
達成状況説明	令和6年度においても、複数の大会に対する派遣支援を継続的に実施することができ、支援を必要とする児童生徒に対して切れ目なく対応する体制を維持できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証した。	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )
			100%	100%	100%	
	【参考指標】	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
進捗状況説明	令和6年度も、派遣補助を実施した各種大会へ参加した後、児童が派遣されたことにより広い視野を持てたかについて、保護者へアンケートを実施したところ、広い視野を持てたとの回答が100%であった。					

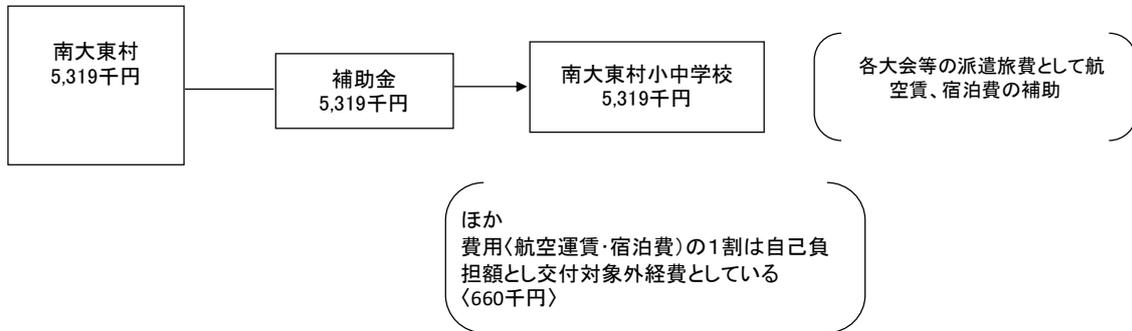
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業では、児童生徒が予選等を勝ち上がることで上位大会への参加権を得るため、派遣対象や大会規模が年度途中で変動することが多く、予算の精緻な積算や派遣計画の固定が難しい。</li> <li>・スポーツ、文化競争だけでなく、社会性、協調性、地域理解など、教育の幅が広がる中で、多様な大会や研修等への派遣支援のあり方も柔軟に見直していく必要がある。</li> <li>・大会に参加する児童生徒の人数が増加すると、安全管理や移動支援の観点から複数の引率者を確保する必要があり、学校や地域での支援体制の整備、支援の検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去実績に基づいた柔軟な予算設計と執行管理の導入</li> <li>・大会以外の研修、交流活動への派遣対象の拡充検討</li> <li>・教職員以外の支援者が引率を担いやすくするため、予算措置によりインセンティブを明確化。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 柔軟な予算運用の仕組みづくり
  - ・過去の派遣実績や大会開催傾向を踏まえ、年度途中の変動にも対応可能な柔軟な予算編成、執行体制を構築する。
- 人材育成の視点を拡充した派遣機会の提供
  - ・大会派遣に加え、体験学習、交流事業、研修など、幅広い分野での学びの機会を支援対象に含め、多様な成長の場を確保する。
- 引率者への旅費補助制度の検討
  - ・外部協力者の継続的な参画を促すため、実費補助等の支給制度を拡充し、活動の位置づけを明確にする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,979	5,319	4,255	1,064	660



資金の流 れ、 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒・指導者の補助で妥当であった。</li> <li>○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である</li> <li>○補助金90%、個人負担10%とし保護者負担は妥当であった。</li> <li>○実績報告書を確認しており、事業目的に則したものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	7-①	循環型農業推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	令和4~令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島ごとの環境・特性を活かした農林水産業の振興
				Ⅲ-1-(6)

**事業内容**  
南大東島のサトウキビ収量および糖度に、土壌の何が強く影響しているかが明らかにされていない為、これらの収量及び糖度に影響する土壌要因を検証する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(令和9年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

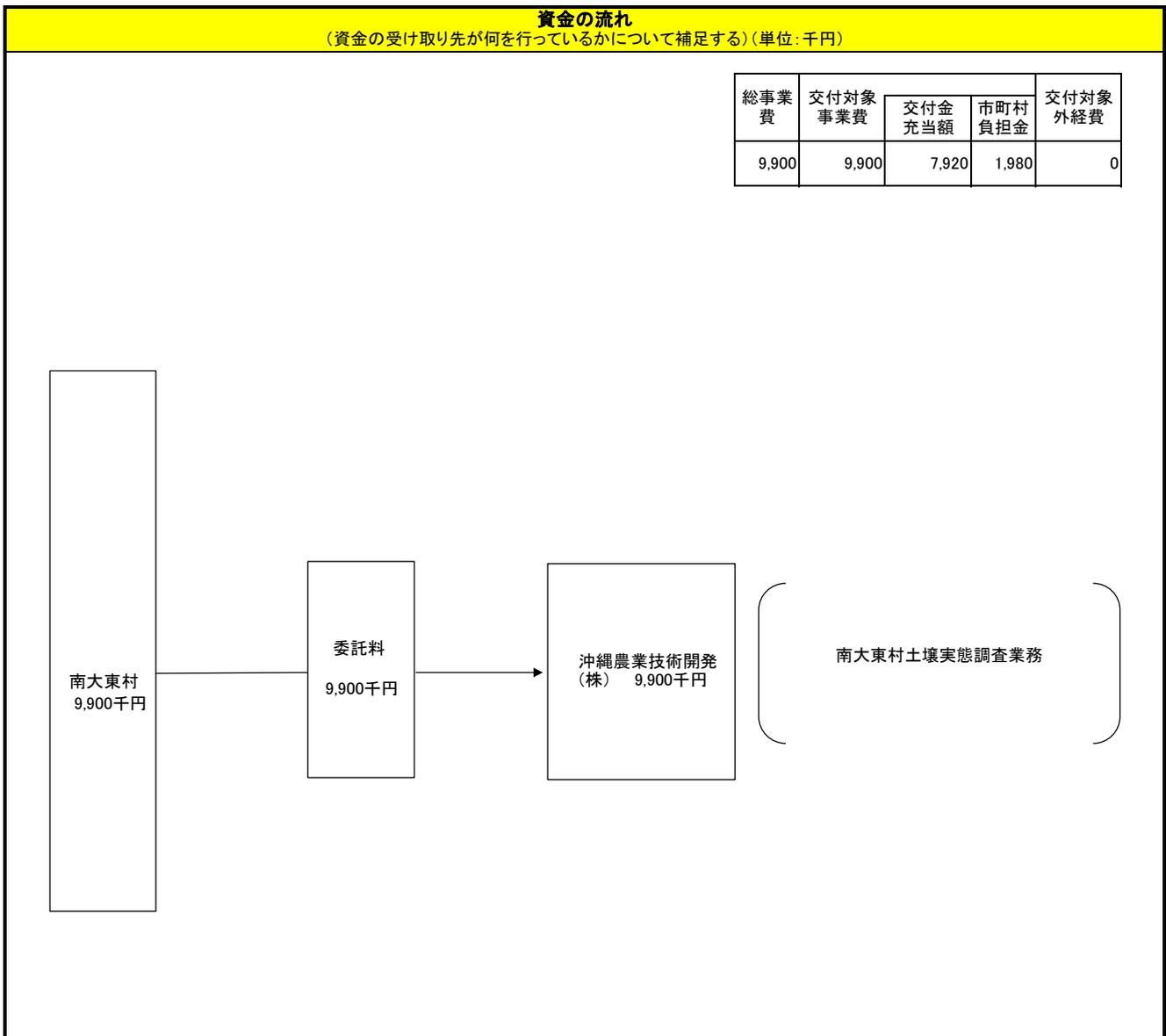
		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	182,160	0	105,819	0	9,900
		(b) 予算現額	201,850	0	105,819	0	9,900
		(c) 増減額(b-a)	19,690	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	185,430	0	66,884	0
		A. 計(b+d)	201,850	185,430	105,819	66,884	9,900
		B. 執行済額	16,225	185,430	26,950	66,884	9,900
		うち交付金充当額	12,980	148,343	21,560	53,507	7,920
		次年度繰越額	185,430	0	66,884	0	0
		執行率(%) (B/A)	8.0%	100.0%	25.5%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	当初計画内容で事業執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験の実施	目標		実証試験の実施	実証試験の実施	実証試験の実施
	実績		完了	完了	完了
土壌改良材製造施設の基本設計 土壌改良材製造施設の実施設計	目標		基本設計の実施	実施設計の実施	
	実績		完了	完了	
機器整備(備品購入)	目標	水草除去装置1基及び木材破砕機一式	水陸両用パワーショベル式及び8t深ダンプ1台	ホイローローダー及びスーパーベストフォーク	
	実績	完了	完了	完了	
達成状況説明	令和6年度において、計画通り土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験を行い活動目標は達成。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R6年度		目標値(R9年度)
		目標	( )	( 実証試験実施 )	
	実績		完了		
さとうきび生産量(過去10年平均から5%増)	目標	( )	( )		( 5%増 )
	実績				

**進捗状況説明**  
令和6年度において、計画通り土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験を行い成果目標は達成。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サトウキビ収量、精度に影響する土壌要因の科学的根拠が不足しており、現場対応が属人的、経験則に偏っている。</li> <li>・分析データと農業指導の連携体制が弱く、対策の現場展開に時間を要する。</li> <li>・地力改善への投資効果や作業負担に対する生産者の理解と納得感の醸成が必要。</li> <li>・持続可能な農業への関心が高まり、有機質資材や循環資源の活用に注目が集まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌調査手法の標準化と効率化。</li> <li>・既存データや過去実績の有効活用。</li> <li>・ICT、デジタル技術の活用。</li> <li>・モデル圃場の設定による実証と水平展開。</li> <li>・有機質資材や島内資源の活用。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、統一的な土壌調査を実施し、収量・糖度との関係を分析することで、効果的な地力改善策を明確化する。</li> <li>・モデル圃場での実証と農家との連携を通じて、改善策の現場展開を図るとともに、ICTや有機質資材を活用し、持続可能な循環型農業の推進を目指す。</li> </ul>		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約により、選定されているが、専門性や地域事業を踏まえた上で適切な事業者であり、選定理由や契約手続きも適正に行われ妥当であったと考える。 ○予算規模は事業の目的・内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
<b>令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	8-①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ			
担当部署名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進  Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R6年度					
	<b>予算 の 状 況</b>	(a) 当初予算額	20,460				
		(b) 予算現額	20,460				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)		20,460	0	0	0	
	B. 執行済額		19,470				
	うち交付金充当額		15,576				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		95.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		ICT機器(電子黒板一式15台)の導入に係る支出が計画的に実施され、年度内での予算の大部分が適切に執行された。執行残額については、入札により予定価格を下回る契約金額で整備を実施できたことによる入札残である。					
<b>活動目標 (指標) 及び達成状況</b>	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	電子黒板一式(ディスプレイタイプ可動式)15台購入	目標	( 15台 )	(      )	(      )	(      )	
		実績	15台				
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績					
達成状況説明	令和6年度において、計画通り15台すべてを導入・整備することができ活動目標は達成。						
<b>成果目標 (指標) 及び進捗状況</b>	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度		目標値 (R6年度)	
	ICT機器を活用した児童生徒の満足度 (授業が分かりやすかったと答えた割合)	目標	(      )	( 80%以上 )			( 80%以上 )
		実績		96%			
	【参考指標】	目標	(      )	(      )			(      )
		実績					
	進捗状況説明	令和6年度において、電子黒板を活用した授業実施後に児童生徒を対象としたアンケートを行った結果、「授業が分かりやすかった」と回答した割合が96%となり、成果目標は達成。					

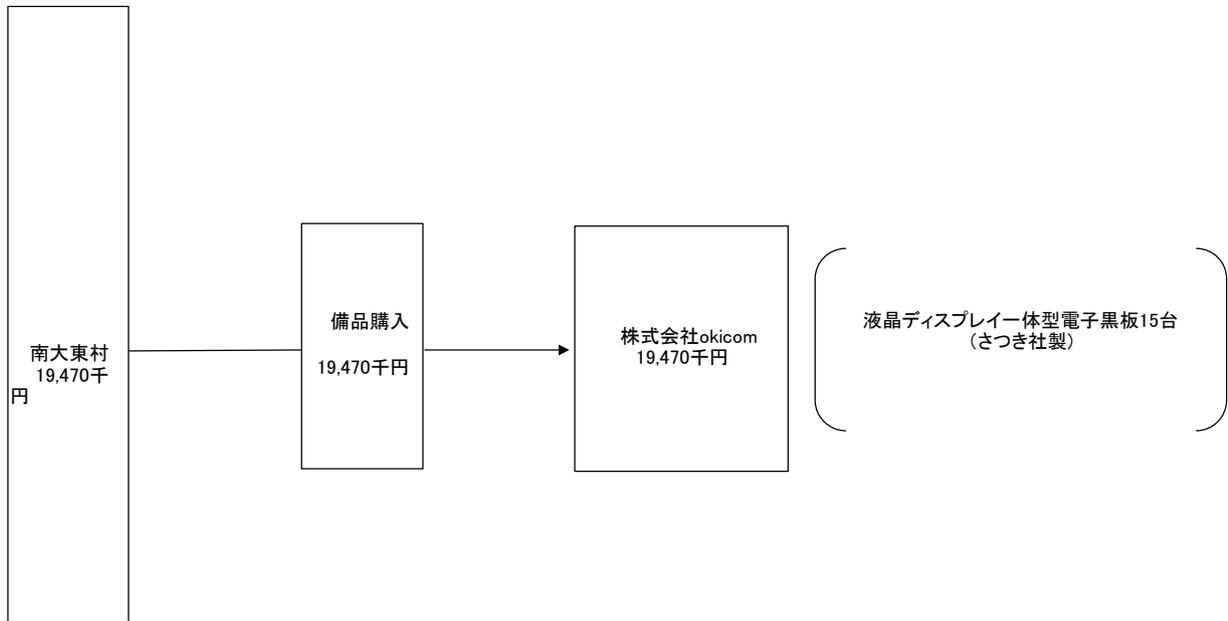
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入された電子黒板の効果は一定程度確認されたが、教員による活用頻度や方法にばらつきが見られる可能性があり、機器の効果を最大化するためには継続的な研修や指導法の共有が求められる。</li> <li>児童生徒の満足度は高かったものの、ICT活用による学力向上との因果関係の明確化には、テスト成績や授業改善との複合的な分析が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内や他校で効果的な授業事例を集約、共有し、成功事例を基に他教員の実践を促進。</li> <li>ICTを活用した授業前後で簡易な確認テスト等を実施し、理解度の変化をデータとして可視化する。</li> <li>アンケートやテスト結果をもとに、定期的に学習効果と課題を振り返る場を設け、授業改善につなげる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ICT機器の効果的な活用促進
  - 活用事例や従業動画の校内共有を促進し、ICT活用の具体的イメージを共有することで実践を後押し。
- 学習効果の「見える化」
  - ICT活用授業における事前、事後の簡易テストや振り返り活動を導入し、理解度の変化を記録、検証。
  - アンケート結果と学習評価(成績・理解度)との関連性を定期的に分析し、学力向上との関係を可視化。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
19,470	19,470	15,576	3,894	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札よりも実績を重視した指名競争入札による3社からの選定で行われており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業の目的・内容に合った適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	